

〔1〕

生涯学習の場

〔2〕

仲間を探そう

〔3〕

医療再生活動

あなたも全医連へ

ご入会はこちら ↓

<http://www.doctor2007.com/how2.html>

全国医師連盟 <http://www.doctor2007.com>

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2丁目7番地
第六東ビル605 全国医師ユニオン気付
FAX：050-3488-3760 E-mail：info01@doctor2007.com

組 | 織 | 概 | 要

組 織 名	全国医師連盟
略 称	全医連
設 立	2008年 6月8日
会 員 数	医師 820名(2010年6月現在)
代 表	黒川 衛
執 行 部	遠山 義浩 三輪 高之 新田 清明 植山 直人
運営委員	上記執行部他27名



つくろう 医療新時代

「医療の質の向上」、「診療環境の改善」、
「患者と医療従事者の権利が守られる社会」を——。



全国医師連盟

過重労働、強まる安全要求、経営不安、医療費抑制政策……。
早急に手を打たないと日本の医療は崩壊します。
目を背けず、今こそともに立ち上がりませんか。
『医療新時代』を築くために――。

理念

私たち「全国医師連盟」は、患者と医療従事者の権利を重んじ、
医療の質の向上と診療環境の改善のために活動します。

私たちは、患者と医療従事者の権利の確立と適正な診療環境を実現するために、
いかなる圧力にも屈せず、行政、立法、司法、メディア、そして国民に、医療のあり方を提言します。

私たちは、地域、世代、診療科および医局の枠を越えて、真の社会貢献を果たします。



ご挨拶

私たちは、医師会、教授会とは異なる医師の
新機軸として、『全国医師連盟』を設立しま
した。

全国医師連盟は、医療崩壊と言われる現在の
医療現場の中で、医療を再生するために
三つの課題を掲げています。

医師が患者さんの苦しみや痛みを真に共感
できるよう、心にゆとりが持てる環境を目指
した『診療環境の改善』。
医師の信頼を勝ち取るため、正しい医療
情報を積極的に発信することを目指した
『医療情報の啓発』。
救命活動の刑事訴追回避と、患者家族
救済制度をセットで実現することを目指した
『法的倫理的課題の解決』。

患者さんが救われ、医師も救われる時代、
『医療新時代』を築くために日々活動して
まいります。

全国医師連盟代表 黒川 衛

診療環境
の改善

全国医師連盟
3つの柱

医療情報
の啓発

法的倫理的
課題の解決

組 | 織 | 紹 | 介

全 医 連 S N S

ネット上の会員制コミュニティです。(24時間営業中)
医師による医師のための学習と交流の場、そして医療情報
の交換と活動紹介の場でもあります。
検索ビューワが充実しています。
『臨床 Q and A 』では会員間で深い論議が交わされて
います。



全医連メールマガジン

楽しく、為になるメールマガジンを会員と希望者に配信しています。
執行部、運営委員会の活動と会員発信情報、有益情報が満載です。

全 国 医 師 連 盟 H P

全医連からの医療政策への提言など、情報発信をWeb上
でも展開しています。
全医連のイベント紹介、会員の活動紹介、各種団体への
リンク、各種資料収集など、情報満載です。



総 会 と 集 会

全医連の活動方針を決める総会と役員選挙には、会費
納入者であれば全員参加可能です。
集会は、全国から会員が集まる交流会、祭典です。
小松秀樹氏、本田宏氏、田中康夫氏、
勝谷誠彦氏、伊関友伸氏などにも
講演等をしていただいています。



臨 床 研 究 会 ・ 交 流 会

臨床研究会は、診療科を超えた交流が特徴です。
第二回臨床研究会は、認知症をテーマとしたセッションと、複数診療科にまたがる興味深い症例検討のセッションが行われます。
全医連では医師の生涯学習の場が多く準備されています。

医療崩壊を防ぎ、医療を再生させる

真の医療サービス向上の為には、行政上の政策変更や法的枠組みの修正など、根本的な改革が必要となります。
行政や司法実務者との連携、そして党派を超え国会議員・政治家に現場の声を届ける等、医療を再生するために活動しています。
ここでは、私たちがおこなった活動のいくつかを紹介いたします。

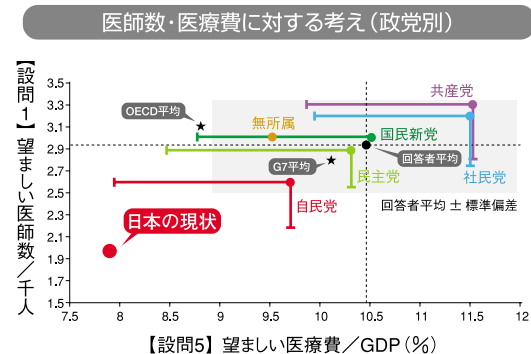
福島県立大野病院事件判決に際する声明(2008年8月5日)と、判決後の全医連記者会見(2008年8月20日)



医療事案の不適切な刑事訴追に対して、多くの医師の協力を得て支援活動を行っています。
大野病院事件では、判決に際しての声明発表と、判決後の記者会見を行い、多くの共感を得ました。

国会議員アンケート(2008年7月実施)

全ての国会議員に宛て、医療費など医療に関するアンケートを実施しました。
各国会議員の医療費や医師増についての考え方を明らかにすると同時に、医療に関する正しい情報を資料として提示することで、それらを国会議員の皆様にお伝えすることが出来ると考えております。



「医療現場の危機打開と再建をめざす国会議員連盟」の医療議連シンポジウムに参加(2008年4月12日)

現場の医師の声を直接国会議員に届けるシンポジウムにシンポジストとして参加しました。
医療に関心のある多数の国会議員の前で、医療司法、診療環境の問題点と解決方向を提示いたしました。



「診療関連死の死因究明制度について」九州厚生局 福岡国際会議場(2008年11月19日)

医療安全調についての厚労省の試案・大綱に対して、全医連は、医師側からの対案を立て、厚労省のシンポジウムで堂々とその対案を説明致しました。



地域医療を守る中央シンポジウムに参加 全日本自治団体労働組合(自治労)主催(2008年10月2日)

自治労主催の地域医療を守るシンポジウムにシンポジストとして参加しました。(東京・星陵会館)
民主党と社民党の国会議員4人が参加したなか、現場の医師の声を届けました。



「STOP! 医療・介護崩壊、増やせ社会保障費10・19中央集会」に参加 (保団連、民医連、医労連、福祉保育労など12団体でつくる実行委員会主催)

集会では、済生会栗橋病院の本田宏副院長、労働者福祉中央協議会の笹森清会長らが壇上であいさつを行い、全国医師連盟の代表も、全医連の組織紹介と連帯の挨拶を行いました。

全国医師ユニオンとの活動

<http://union.or.jp/>

『全国医師ユニオン』は全国医師連盟の有志が設立した、個人加盟制の医師の職能組合です。当連盟では全国医師ユニオンと協力し、医師の権利と労働条件の改善のために、法律に基づく正当な手段によって改革を進めています。

全国医師ユニオン(植山直人代表)と共に活動

全国医師ユニオンの【勤務医110番】のイベントに参加し、医療労働研究会を共催したり、積極的な連携活動を行っています。



厚労省労働基準局、厚労省医政局に、「勤務医に対する労働基準法違反の処遇に関する厚生労働省への要望書」を手渡し、陳情を行いました。



2009年11月22日に共同記者会見を行い、【医療機関における36協定全国調査結果】を発表

全国の主要病院1,549箇所を対象とし、医療機関における36協定(時間外労働や休日労働に関する協定)の合同調査を行い、調査結果を発表しました。



厚労省交渉後に二つの記者会見

「厚生省記者クラブ」と「医療系メディアその他の記者」の二つの記者会見を開き、厚労省への要望書の背景と、厚労省側の口頭回答についての所感を発表いたしました。



重要な声明の発表

▶ <http://www.doctor2007.com/seimeilist.html>

持続可能な医療体制を実現するための全国医師連盟の五つの緊急提言（2009年8月6日）

国際的に評価の高い日本の医療は、崩壊のまっただ中にあります。
そして、医療崩壊は、日本社会に様々な悪影響を及ぼします。医療現場が疲弊する一方で、医療制度の矛盾は、長年放置されてきました。日本の医療は直ちに修復されなければなりません。
全国医師連盟は、ここに持続可能な医療体制を実現するための緊急提言を発表します。

1. 医療費を先進国並みに増額し、医療を大幅な雇用創出の場にすべきです。
2. 国は、医療の需要が現場の対応能力の限界をはるかに超えている、という問題を直視し、医療の需要を制限する緊急避難的な施策を真剣に検討するべきです。
3. 国と医療機関の開設者は、病床あたりの勤務医師数を大幅に増員するよう努力し、労働環境の適法化に真剣に取り組む必要があります。
4. 過酷な労働環境が放置されたままの医療現場に医師を強制的に配置することは、医師の診療能力の低下を、ひいては医療供給の減少をまねきます。
5. 医療の場で不幸な事態が起こったとき、捜査機関の介入に先立ち、刑事手続に付すことの相当性を検討する調査委員会の設置が必要です。また、医療事故補償基金を創設し、患者（家族）救済を図る必要があります。

（内容省略有）

全国医師連盟の緊急提言は、逼迫した医療現場からの切実な訴えです。医療崩壊は、旧来の方法では解決できず、緊急に抜本的な対策をとらなければなりません。

『持続可能な医療体制を実現するための
全国医師連盟の五つの緊急提言』に
ついての公開質問状

緊急提言（2009年8月6日）に対して各党へ公開質問状を提出し、新党日本、日本共産党、国民新党、社会民主党、民主党から御回答いただきました。

新政権への医療現場からの要望（2009年9月14日）

行政刷新会議及び財務省にみえる政権党の公約違反の動きに抗議する。（2009年11月27日）

全国医師連盟の公開質問状に対する各党の回答

	新党日本	共産党	国民新党	社民党	民主党
1. 医療費を先進国並みに増額	○	○	○	○	○
2. 医療需要を制限する緊急避難的な措置	○	△	△	×	△
3. 勤務医師数の増員・労働環境の適法化	○	○	○	○	○
4. 医師の計画配置反対	○	○	△	○	○
5. 医療事故調査委員会・医療事故補償基金の創設	○	○	○	○	○

○：賛成 △：一部反対・賛否を判断できず ×：反対



〔国民新党〕
森田 高 参議院議員 (医師)



〔民主党〕
梅村 聡 参議院議員 (医師)



● 2007決起集会



● 民主党国会議員
5名との政策研究会



● 勝谷氏を囲んで懇親会



〔国民新党〕
自見 庄三郎 参議院議員 (医師)



● 〔民主党〕 福田 えり子 衆議院議員



● 運営会議



● 一部運営委員の記念撮影

● 〔自民党〕 岩屋 毅 衆議院議員

志しをともにする
仲間との交流、
政治家への
積極的な陳情活動など、
『医療の再生』に
取り組んでいます。